

総合的な学習の時間の実践

旭川市

総合的な学習
3年

お年寄りの言葉から生きることの大切さを学ぶ

『お年寄りとなかよく』

単元の概要 と 単元構成

子どもたちが抱いているお年寄りのイメージは、「元気がない」「歩くのがやっとな」「体が弱い」といったマイナス面が強い。しかし、お年寄りにはたくさんの知恵や技術があります。そこで、校区にある高齢者福祉施設に在籍したり、デイサービスを受けたりしているお年寄りと交流させ、お年寄りへの見方を広げ、思いやりの心を育み、お年寄りの言葉や生活経験から生きることの大切さや素晴らしさを学ぶ学習にしました。

学習活動の流れ（40時間）

自分たちの身近にいるお年寄りとの違いを感じることから学習を始めます。

交流では考えてきたことがお年寄りに合っているのか、喜んでもらえるのかについて、施設の職員にアドバイスをもらいました。

最初の訪問で戸惑っていた子どもたちも次第に積極的にかかわりを持つことができるようになりました。

「養生の杜カムイ」に行ってみよう！（10）

- ・自分たちの祖父母のことについての交流
- ・養生の杜カムイについて知り、施設見学をする
- ・自分の祖父母と施設のお年寄りとを比較し感じたことを交流しあう

おじいちゃん・おばあちゃんと交流しよう！（15）

- ・施設のお年寄りとの交流計画を立てる
- ・自分たちの考えた交流方法が適切なものかどうか職員の人にアドバイスをもらう
- ・アドバイスをもとに交流計画を修正し、準備を進める
- ・施設を訪問し、お年寄りと交流を深める

大好き おじいちゃん・おばあちゃん！（15）

- ・交流会の感想をまとめ今後の交流について考える
- ・今回の経験をもとに身近なお年寄りとのつながりを深める方法について考える
- ・身近なお年寄りと実際に関わる

高齢化社会が進む現代では、児童のイメージとは違った高齢者が存在していることも事実です。「養生の杜カムイ」（特別養護老人ホーム）で、人と人とのつながりを深めることを目指しました。



このくらいいいですか

教材・活動の Point!



1. うちのおじいちゃんおばあちゃんと比べて

初めて訪問した老人ホーム。いつも見慣れたお年寄りと様子が違います。車椅子に乗っている、話しかけても聞こえない、ただ黙って座っているだけ…。子どもたちにとってはちょっぴり不思議な感覚の残る出会いだったようです。

2. 喜んでもらえるかな？ 僕らの計画

最初の訪問では、驚きや戸惑いが多かった子どもたちも、別れ際、「また遊びに来てね」の言葉をきっかけに、今度はもっとおじいちゃんおばあちゃんを楽しませてあげたいと思います。施設の職員に自分たちが考えた交流計画についてアドバイスをもらい、よりよい交流ができるように工夫しました。



3. 涙を流して喜んでくれたよ

ペットボトルボーリング・ひもくじ・折り紙・将棋・紙芝居など、お年寄りと会話をしながら一緒に楽しむ活動を行った子どもたち。交流会の最後にはみんなで歌のプレゼントをしました。涙を流して喜んでくれたお年寄りの姿を見て子どもたちの心も温くなりました。

